

UOZUFUWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB



創立20周年記念誌



目次

1. [祝賀会風景](#)
2. [交流試合風景](#)
3. [謝辞](#)
4. 祝辞  
[「祝辞」](#)  
[ラグビー頭](#)  
[祝 創立20周年](#)  
[魚津不惑RFC創立20周年を祝って！！](#)  
[20周年を祝して](#)  
[お祝い](#)  
[ラグビー『生涯現役』](#)  
[魚津不惑創立20周年のお祝いに寄せて](#)
5. 随想  
[魚津不惑RFCと私](#)  
[魚津不惑と共に、20年](#)  
[仲間に感謝して今後に期待する魚津不惑RFC](#)  
[楽しい不惑](#)  
[入会時を振り返って](#)  
[魚津不惑RFCと共に](#)  
[監督になって思うこと！](#)  
[楽しいラグビーと和](#)  
[嬉酣「魚津不惑」の思い出](#)  
[思いでDVD](#)  
[主務業とは](#)  
[楯田球の“魅力”と仲間達に感謝！](#)  
[ふるさとは遠きにありて](#)  
[50歳からはじめたラグビー](#)
6. [魚津不惑20年のあゆみ](#)
7. [メンバー紹介](#)
8. [編集後記](#)

魚津不惑RFC会長	米田辰雄
魚津市長	澤崎義敬
富山県ラグビー協会会長	横田幸藏
魚津市ラグビー協会会長	室口征雄
熊谷不惑倶楽部会長	吉田嘉高
郡山不惑クラブ部長	小針勝利
関倶楽部部長	山本修
富惑クラブ前会長	熊谷直輔
高岡DIVE=II代表	下紳一郎
初代会長	中山良雄
副会長	石崎晴久
FW	松本茂
初代キャプテン	廣澤幸夫
FW	野畑武好
初代監督	森竹正人
監督	先名義隆
主将	有磯明
BK	二塚一郎
BK	竹芳男
主務	森竹清人
初代コーチ	寺崎聡
SH	岡本勝行
BK	馬場健宏

# 魚津不惑RFC創立20周年記念



平成24年5月26日(出) 記念祝賀会に集まる会員一同  
ホテルグランミラージュにて



祝賀会に出席した県内外の不惑メンバー



木田 魚津不惑会長



横田 県協会会長



大谷 魚津市体協会長



吉田 熊谷不惑会長



山本 関倶楽部部長



河村 富惑クラブ主将



坂口 高岡DIVE=II主将



室口 市協会会長



記念品の贈呈

創立20周年を祝い懇親する会員〈PART 1〉



創立20周年を祝い懇親する会員 <PART 2>



魚津不惑 RUGBY FOOTBALL CLUB  
創立20周年記念祝賀会





## 記念交流試合〈熊谷不惑倶楽部、関倶楽部〉



平成24年5月27日(日) 交流試合に参加した選手





## 謝 辞

魚津不惑RFC

会長米田辰雄



この度、魚津不惑RFCは創立20周年を迎えることができました。これもひとえに、これまでお付き合いしてきました県内の富惑クラブ、DIVE=II および県外の熊谷不惑倶楽部、郡山不惑クラブ、関倶楽部の皆様をはじめ、関係各位のご協力のお陰であり、深く感謝申し上げます。

現在は、会員数も60名を超え、初回から連続して参加している菅平全国不惑交流会には、これからも継続して参加していきたいと思っています。

入部当初は紺色パンツでしたが、いつの間にか黄色パンツに変わっていますが、試合開始のホイッスルがなる瞬間の緊張感は、どれだけ年を重ねても同じ心境であります。これからも緊張感を持ちながら健康に留意しながら、ゲームを楽しみたいと思っています。

我が国も昨今は高齢者社会と言われていますが、その長寿社会に身を置く者としては、いつまでも若く健康でありたいという願望の思いで、楯円のボールと遊んでいます。

また、春には桜やりんごの花見、夏には海でバーベキュー、冬はスキー合宿とラグビー以外の活動も行いながら、クラブ会員との親睦を深め楽しくすごしています。

しかし、楽しく活動しているクラブですが、白パンツの会員が少なく、その世代の確保が課題となっております。

紺パンツ、赤パンツ以上は、ある程度の人数が確保、維持できていますが、白パンツ組の戦力アップはクラブの活性化につながりますので、関係各位のPRに協力を期待しています。

幸いにして、魚津地区には小学校、中学校、高校、社会人、サーティのクラブがあり、継続してプレー出来る環境がありますので、サーティを卒業するメンバーの入部に期待しています。

最後に、20周年の記念誌発行にあたり、ご多忙中にもかかわらず原稿の執筆依頼を快く承引いただき、また激励等の一文をお寄せいただいた方々に感謝申し上げます。

多くの皆様のご好意と善意、クラブ会員の協力を支えられ、魚津不惑RFCが今後も元気に活動できますことを確信して感謝の言葉といたします。

# 祝辞

魚津市長

澤崎義敬



このたび、魚津不惑RFCがめでたく創立20周年を迎えられますことは、誠に喜ばしく心からお祝いを申し上げます。

魚津のラグビーといえば、魚津高校が昭和27年から7年連続で全国大会に出場し、全国にラグビー魚津の名を知らしめたことが思い浮かびます。また、昭和33年の富山国体や2000年とやま国体では、魚津市がラグビーフットボール競技の会場となるなどラグビー熱が高く、ラグビーが盛んな土地柄でもあります。近年においても魚津高校・魚津工業高校の面高校が競いあうことで、県内のラグビー界をリードするとともに、魚津市民に愛されるスポーツとして親しまれるものとなりました。

貴クラブにおかれましては、その全国大会出場を知る方々が多く所属され、自らも競技を続けながら市内のスポーツ少年団等に指導いただくことで、魚津ラグビーの輝かしい歴史と伝統を築いてこられました。

近年は、ジュニアから一般まで幅広い層で、県内はもちろん全国大会でも活躍をするチーム・選手が増えており、これも長年魚津ラグビー界の先頭に立って牽引してこられた皆様の情熱と努力の賜物であり、市のラグビー競技の発展に大きく貢献していただいておりますことに対して、心から感謝と敬意を表します。

本市では、すべての人々が「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツを楽しめる」生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツの振興に努めているところであります。貴クラブにおかれましては、まさしくその「生涯スポーツ」を实践されており、今後も長く競技を楽しんでいただくことで、市民の「生涯スポーツ」の模範となっただけますようお願い申し上げます。

終わりに、本記念誌編集にあられた関係各位に敬意を表しますとともに、この記念すべき20周年を契機として、貴クラブのご活躍と今後ますますのご発展を心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



# ラグビー頭

富山県ラグビーフットボール協会  
富惑クラブ

会長横田幸蔵



野球界に「野球頭」という選手評がある。ピッチャーに多く、打者とのかけひき、投球術に長けた選手などをいう。江夏が「野球頭がいい」とよくいわれた。

ラグビーでも「ラグビー頭」があると思う。それを持つのは魚津不惑RFCの面々だ。試合をしていていつも感じる。パスをする際の“見事な間合い”、タックルされたときの“味のある”ダウンボールとボディコントロール、タッチラインいっぱいのところを“縫うようにする走り”などなど、見巧者をうならせる。つまり、センスとカンがいい。どれも一定のレベル以上は教えられて身につくものではない。

魚津は「ラグビーの街」だ。魚津にラグビーが誕生して60年以上も経つ。

魚津市ラグビーフットボール協会が発足したのは地方都市レベルでは全国の草分けだった。

魚津高校、魚津工業高校はある時期、圧倒的な存在感があった。ジュニアのラグビー少年団は北陸で先駆してスタートした。また、魚津RFCは社会人の強豪だ。

こうした“土壌”に育ったからこそ、魚津不惑RFCの面々は、自然と「ラグビー頭」を持ち、プレーでそれを体現できるのだろう。弱いはずがない。試合は“きれい”だ。対戦していて気持ちがいい。

これからもお手やわらかにお願いします。

魚津不惑RFC創立20周年、おめでとうございます。

# 祝創立20周年

魚津市ラグビーフットボール協会

会長室口征雄



魚津不惑RFCが創立20周年を迎えられ心よりお祝い申し上げますと共に、節目としての記念誌を発刊されます事は誠に意義深く30年、40年誌と続いていくものと確信してやみません。

「魚津のラグビー」は、多くの先輩諸氏が大切に「楯円球」を落とす事なく引き継がれて来た賜物と言って過言ではないと思っています。

「魚津不惑誕生」も、日本カーバイド工業ラグビー部OBを基軸として活動していた「魚津オールドラガー」が高齢化した事も一因だったように思います。

平成3年夏、チーム立て直しの声がかかり、私を含め数人の仲間と新たに「不惑チーム」として、発足準備を始めました。クラブの規約作り、グラウンドの確保、人集め、ユニフォームの作成、会員予定名簿の作成等、幾度となく協議し時間かまわず奔走し、翌年4月、どうにか総会が開催できたのも、準備委員のメンバーや当時の市ラグビー協会の方々のアドバイスがあったからだと思えます。

時代が時代だけに、パソコンや携帯電話も普及しておらず会員募集の封書(130通)に、切手を舐めながら貼った事を思い出し笑います。

ともあれ、「無から有を生み出す」貴重な体験させて頂いた事が走馬灯のごとく思い出されます。

以来、15年間、クラブの運営に携わり、熊谷不惑はじめ郡山不惑、関倶楽部、金感等県外チームとの交流・交歓を通して「人の輪」の大切さを学んだようにも思えます。

設立当初30大弱でスタートした会員も60人を超える大所帯となり、県内では一番充実した組織と思っています。

又、休眠していた魚津サーティも数年前に復活し、今後の不惑としては明るい材料であり喜ばしく思えます。

今後は創立20周年を契機として、市ラグビー協会と共に「ラグビータウン魚津」を築き上げて頂ければ幸いです。

結びに、高齢化社会と言われて久しい今日「元気不惑、元気ラグーマン」として、地域に根差したクラブチームとして益々のご発展と会員皆様の一層の飛躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とします。

[一句]

「転がる楯円球捕りそこね、転がり倒れ笑いを誘う」

“楯円球を追う姿、人生を歩む縮図なり”

# 魚津不惑R F C創立20周年を祝って！！

熊谷不惑倶楽部

会長吉田嘉高



魚津不惑RFCの皆様、この度は貴クラブが、1991年11月に発足され、翌年4月から本格的な活動を始められて、今年で20周年の記念すべき年を迎えられましたことを熊惑メンバー一同心よりお祝い申し上げます。

貴クラブとのご縁は、平成11年の菅平での全国不惑交流大会以来ですが、翌年の5月に魚津に遠征し、あの山と海の見えるグラウンドでの試合と懇親会を楽しみ、魚津の皆様とは何となく馬が合ったというか、木当に気を遣わないお付き合いが出来たといえますか、魚津と熊谷と交互にグラウンドを替えての交流が続いて来ました。

我が熊惑クラブの30周年記念事業の試合も、平成16年5月に熊谷まで遠征いただき楽しく盛大に交流の輪を広げて頂きました。去年は、残念ながら天候の関係で中止となりましたが、今年は是非お手合わせをお願いしたいと思います。

なでしこジャパン等のサッカーの人気は、他の競技を大きく引き離れた感がありますが、我々が楽しむ生涯スポーツ的なラグビーは、仲間の絆に支えられて、大きな懇親・親睦の輪を広げることが一番だと思います。

一度に30人ものメンバーが楽しめるスポーツなんて、ラグビーだから可能なのです。白パンから紺パン、赤パン、黄パンそして紫のパンツまでそれぞれの楽しみ方が出来て本当にラッキーですね。クラブのメンバーを少なくとも白、紺、赤とゲームが出来る人数を確保して、よそのチームとの交流が出来るクラブでありたいものです。

魚津不惑RFCの将来が、30周年、40周年に向かって益々充実したチーム作りが出来まして、熊惑クラブとの楽しい交流が続くことを心から念願して20周年のお祝いの一文とさせていただきます。

## 20周年を祝して



郡山不惑クラブ

部長小針勝利

魚津不惑RFC創立20周年を、心からお祝い申し上げます。

創立から今まで存続にご尽力されて来られた皆様に深く敬意を表します。

ご存知の通り元祖不惑倶楽部は、昭和23年東京で産声をあげ、その後大阪・名古屋・東惑・九州・迷惑と全国的に広がり、郡山不惑倶楽部も、母体である郡山クラブOBから昭利62年に誕生しております。

今や高齢化社会を迎え、健康に対する関心や意識の高まりで、生涯スポーツは、生活と密接な関係になっております。どんなスポーツにもそれぞれに魅力はありますが、特にラグビーにはラグビーにしかない素晴らしさがあり、人間として学ぶべきことなど多々あります。

15人が一致団結して相手陣目掛けてアタックする。それを体を張って阻止するデフェンス陣。ラグビーに魅せられ、ボールに恋をし、闘争本能むき出しで格闘技さながらの男たち。この熱き戦いは、繁殖期を迎え、野生動物の雄たちが、雌をめぐる死闘する場面すら連想させてくれます。

ラグビーは紳士のやる野蛮なスポーツと言われます。厳しい状況の中でも自分を見失わない精神を養わなければなりません。ラグビーのこの厳しさ故に生まれる仲間との理解、協力、尊敬は、生涯かけがえのない財産となっております。

また、試合後の交歓会は敵、味方なく互いの健闘をたたえ合い、友好を深める新たな絆が生まれる。この交流文化こそラグーマンにしか味わえない事かもしれません。

さて、魚津不惑と郡山不惑との交流のはじまりは、今年で14回目となる“菅平高原不惑クラブラグビーフットボール交流試合”でした。

魚津不惑さんは、この交流会発足時からのメンバーで、郡山不惑は平成15年第5回大会からの参加と記憶しております。今やこの交流は郡山不惑年間試合予定のメインの一つで、初参加以来かさず私も参加しております。

そんな中、魚津さんとは何度かの交流戦を通し、お互いのチームカラーも分かり、親交が深まって北陸、東北との遠距離交流はじまったと思っております。隔年ホームとアウェイの相互遠征で、今年9月郡山がホームで5回目となります。遠距離だけに、メンバーが乗る福島から片道415キロ、おおよそ7時間のバスでの日帰りは、黄バンには多少こたえますが、ボールに恋して千里の道も一里。これからも、この交流よろしくお願ひいたします。

最後に、魚津不惑RFCのますますのご発展と、ご活躍を祈念し挨拶いたします。



# お祝い

関倶楽部

部長山本修



魚津不惑RFC創立20周年を心よりお祝い申し上げます。  
20年の伝統と60余名の会員の皆様を有する貴クラブは、インターネットのホームページを通しクラブの情報発信をされるとともに冬、夏合宿を始め多くのクラブと交流試合をされるなど活発な活動を積極的に行っています。設立数年の私共、関倶楽部にはお手本とさせていただいており、本当に雲の上のチームに思えます。

数年前よりラグビースクールの交流とともに毎年お招きをいただき交流試合をしていただきました。試合中は雪国育ち特有の粘り強さを軸に、ひた向きに、そして闘志あふれるプレーはラグーマンとして忘れてはならない大切な基本だと云うことを教えていただきました。

そして何より試合以外では会員の皆様が和気あいあいと行動されていることを改めてラグビー好きの集まりだと強く感じました。一番の団結力を示されたのは、試合後の懇親会でした準備から閉会まで手際よく、楽しく語り合いその日の試合をスクリーンで見ながら飲む酒のうまさは忘れられませんでした。

米田会長や役員の皆様には、いつも、いつもお世話をかけお礼の言葉もありません。今後とも今まで同様のおつきあいをお願いいたします。

魚津不惑RFCの益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈り申しあげ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## ラグビー『生涯現役』

富惑クラブ

前会長熊谷直輔



魚津不惑RFC創立20周年となり、クラブとしての成人式を迎えられる事を心からお祝い申し上げます。貴クラブと富惑クラブとは同じ富山県内のチームで、兄弟チームの様に感じております。

まさにお互いメンバー不足の時には助け合ってまいりました。

また、6月の県体3部、11月の県ラグビー祭の時には勝ったり負けたりのお繰り返しで、良きライバルとして次回の対戦を待ち遠しく思ったものです。

OVER60では、2005年の福岡ねんりんピックに魚津不惑、DIVE=II、富惑の富山県内3クラブ合同でチームを作り参加をしたのは楽しい思い出です。

それ以来、ねんりんピックには毎回参加し、富山県内の不惑チームの結びつきが強くなりましたのは嬉しい限りです。

以前は、富山県では赤パンになるとラグビーを卒業する人が多く、各クラブ共に自チーム単独で赤パン以上でのゲームが組めなかったのですが、ねんりんピック参加を機会に富山のOVER60でチームを組みゲームが出来る様になりました。今後は、赤パンになってもラグビーを楽しむ仲間が増えるものと期待しています。

ラグビーを愛する魚津不惑の皆さん、この楽しくて、素晴らしいスポーツを、『生涯現役』の気概を持ってラグビー人生を送りましょう。

最後に、魚津不惑R F Cの益々のご発展とクラブの皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

# 魚津不惑創立20周年のお祝いに寄せて

高岡DIVE=II

代表下紳一郎



創立20周年おめでとうございます。

20年の歳月を新川地区、また富山県のラグビーを盛り上げてこられたことに、敬意を表します。

また、全国各地のチームと交流を図り、日本のラグビー界の発展にも寄与されていることと思います。

長期間続けている中で、山もあり、谷もあったことと思いますが、その中で続けてこられた事は、本当に大変だったと思います。

今後、ますますの御発展を祈念いたしております。

本当に、おめでとうございます。

# 魚津不惑RFCと私

魚津不惑R F C初代会長

中山良雄



魚津不惑RFCは平成4年に設立され、平成24年で節目の20周年記念を迎えられた事よりお祝い申し上げます。

発足から18年間不肖ながら会長を務めさせて頂きました。

これもひとえに不惑仲間RFCの、ご理解と絶大なるご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

現在の魚津不惑RFCは、40才から78才までのクラブ員で構成され、全身全霊でプレーすることも素晴らしい事です。

また、試合は別として日常活動では魚津ラグビー協会に協力し、スポーツ少年団・東西両中学校の指導に当り、ラグビーの底辺の拡充を図り、その成果として吉島ラグビースポーツ少年団が今年で連続6回タグラグビーの全国大会に出場。「サントリーカップ」秩父宮ラグビー場で試合が出来ることは、ラグビースポーツ少年団にとっては今後の希望と大きな誇りと財産になるでしょう。

更に、不惑ラグビーマンは日常生活では年令に関係なく和気あいあいでの桜の花見・リンゴ花見・吉浦海岸でのバーベキュー、冬は一泊でスキー大会等実施していて、又、それぞれの不惑会員はそれぞれ職業がまったく違ってバライティに富んでいて素晴らしい絆に結ばれています。

その絆と友情は、全国不惑クラブ交流試合「菅平高原スポーツランド」から始まり、この交流試合を通じて熊惑・郡山不惑と毎年定期戦の親睦試合を実施する等、これぞまさしくラグーマンの誇りと友情の絆です。

私もラグビーを生涯スポーツとして頑張っていく所存です。どうか魚津不惑RFCの方々の増々のご厚誼と友情等をご支援下さる様、切にお願い申し上げます。

終わりに不惑ラグビーの皆様方のますますのご活躍とご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、お礼の挨拶と致します。



## 魚津不惑と共に、20年

魚津不惑RFC副会長

石崎晴久



創立20年。人間で言うなら、ようやく、成人式を迎えることができ、他の不惑チームのように、大人の仲間入りが出来るのかなと思います。これも、いろんな特技のあるメンバーの方々への盛り上げがあったからだ、感謝しております。

さて、この20年を振り返って、私にとって一番思い出深いのは、平成6年5月、秋田市で開催された“不惑ラグビー全国交流大会”であろう。

創設2年目での初の遠征、初の大きな大会でもあったせいなのかもしれない。

県庁から借りたマイタロバスでの長い道程の珍道中も、思い出深い。

前日のレセプションの盛大さにも感激した。そして、試合当日、隣グラウンドで見た好ゲーム。

“これが、不惑の・・・。”と、心の中で絶句。そして、感服したのを覚えている。

魚津不惑は、天理、岩手と2戦2敗であったが、結構良い試合だった。(・・・と、慰めている。)どこの誰だか知らないが、試合中の写真を撮ってくれていた人がおり、後で送って頂いた中に、私が主役の1枚のアップ写真があった。

その1枚は、今も私の机の上に飾ってある。時折、それを見ては、“なかなか・・・。”と思いつつも、現在とのギャップにうなだれている自分がある。

また、忘れてならないのは、“ねんりんピック”福岡、鹿児島、石川大会に参加できた事でしょう。いろんな出会いと交流、そして、温泉。良い体験をさせて貰った。

“・・・40、50はハナ垂れ小僧。60、70は働き盛り。90になって迎えが来たら、100まで待てと追い返せ。”と、誰かが言っていたが・・・。

この大会で、まさに頭の下がる思いで、ただ、敬服させられた方を、何人もお見かけした。果たして、自分は何歳までプレー出来るのだろうか。とりあえず、第一目標を“黄パンツでプレー”としておこう。

さすれば、息子も不惑。親子で一緒にプレー出来れば嬉しい限りである。私のポジションは、皆さんの好意でスタンドオフをやらせて貰っている。その願いの前に、いつも“スタンド”で“オン”にならないようにがんばろう。

高校でラグビーを始めて47年。犠牲にしたものも多々あるが、何よりも、すばらしき仲間と出会えたのが宝であろう。私は、以前より試合、催事等には家内を同行している。30歳代、県協会社会人担当していたゆえ、シーズンオフ以外の日曜日は、留守ばかりであった。その罪滅ぼし、と共に、その仲間達を見せてやろうと同行したのが始まりであった。

これが間違いであった。私よりもこのチームが気に入ったみたいである。

現在は、救護係として魚津不惑の一員である。職業は、看護師。ただし、赤パンツの私より人生の大先輩ばかり入院の病院である。したがって、赤パンツ以上の扱いには慣れているみたいである。

最後に、20年共に支えてくれた戦友たちに“感謝”。そして、10年後の30周年には、白紺、赤以上と、それぞれのチームが形成されていることを望むと共に、私も黄パンツの現役として参加していきたいものである。

## 仲間に感謝して 今後に期待する魚津不惑R F C

魚津不惑R F C

松本茂



光陰矢の如し、魚津不惑R F Cが誕生してからもう20年が経ちました。思い起こすと、クラブ結成の際に室口征雄さん(現魚津市ラグビー協会長)が、私の勤めていた日本カーバイド工業(株)へわざわざ訪ねてきてクラブの構想説明を受け、賛同した記憶があります。

当時は「魚津オールド」チームがあったが、これを発展的に解消して、会員を広範囲に受け入れる現在の「魚津不惑RFC」を結成するための構想でした。

間もなく、室口征雄さんを中心とした不惑の若手の熱意と努力により組織化され、初代;に中山良雄さんが就任されました。

そして、役員と会員が一体となり、今日の60名超からなる、80歳に近い私たちまでが楽しめるチームに成長した間に、遠征試合も沢山ありました。

私も何回か遠征に参加して、忘れられない思い出は、1996年(平成8年)岡山・倉敷市遠征です。倉敷には、昭和33年の富山国体(第13回)に出場した日本カーバイド工業チームの監督五十嵐正雄さんやチームメートが在住していて、その皆さんと再会して酒を酌み交;わす期待で一杯でした。

岡山チームとの親善試合は、美作ラグビー場で行われましたが、私などは専ら観光が主で、江戸時代の白壁の蔵屋敷が建ち並び、柳の枝が垂れ下がる倉敷川沿いの通りを観て歩き、;大原美術館の見学やその後の飲み会で大いに楽しみました。『後に再び倉敷遠征があり、同じように楽しんでいきます』

今日までラグビーと共に歩いた人生で、沢山の良い仲間に恵まれてラグビーを楽しみましたが、歳と共に体が故障して競技を観る側に回っています。

それでも遠征に同行し、2003年(平成15年)の熊谷遠征の際には、東京や埼玉などに在住の昔のラグビー仲間と再会して、ラグビー談議で盛り上がったことも懐かしく思います。

これからも観る楽しみを味わいながら、機会があれば遠征にも参加したい気持ちがあるが、体が付いてくるか?

さて、不惑の年齢は、家庭でも、仕事においても最も充実して多忙な時期かと思いますが、既に実践されているように、忙しい時間を割いて、スポーツ少年団から中学生等の若いラグビーの指導を続けることが、将来の魚津市ラグビー、富山県ラグビーの発展につながるものと思うので是非、若手中心の頑張りを切望しながら、「魚津不惑RFC」の30周年、40周年…の継続と隆盛を願っています。

# 楽しい不惑

魚津不惑RFC初代キャプテン

廣澤幸夫



「不惑」が出来てはや20年。幾つになっても「トラ」と呼ばれ、古希を迎えた先輩達を見ていた私も、その仲間に入った。

又、いろんな大会に参加。“紫”ゴールド”の短パンをはいた古豪チーム。威厳ある雰囲気漂う。

「あっ、ゴールド短パンの人だ」

仲間に手を借り、スクラムを組んでいる。ボールを投げる、受ける。みんな笑顔で見守っている。そんな動作を気に掛け、我を忘れて見惚れていたものだ。

この頃は、テレビのラグビー映像に向かって、無意識に文句・独り言。試合が終わってみれば、どれだけ力を入れて観ていたのだろうか。手に汗、呼吸困難。「ああ、疲れた。」女房に笑われる……。今日は練習日だ。用具の入ったバッグを手にグラウンドへ。名前も知らない、若い不惑の人達。

「おはよう」と声を掛け、仕度に入る。少し興奮し手の震えを感じながら、ユニホーム・スパイクを身に着け、楽しんでいる人達の輪の中へ。

おぼつかない手でボールを持つ、何ともいえぬ感触。蹴ってみる。足にうまく当たらず、痛さを我慢。戸惑いを感じ、走りながらのパス。気合いを入れて投げなければ相手に届かず、疲れるわけだ。受けるボールは「ポロリ」。走ってもついていけない。息切れ、苦しい。

こんな迷惑な私に声を掛け、助けてくれる人。

体力、気力、五感の衰えを感じるそんな中、ぶつかり触れ合い、心地良い汗、疲れに酔っている。

元気な証拠だ。何時迄も続けたい、多くの仲間との深交、親交。

何歳まで皆と楽しめるだろうか。充実、満足した一日が過ぎ……。

「お父さん、出来たよ」コップに酒の肴。魚津不惑に乾杯！

## 入会時を振り返って

魚津不惑RFC

野畑武好



魚津不惑RFCが今年で20周年を迎える事は、大変喜ばしい限りであります。これもひとえに歴代の役員  
の皆さんを始め、会員各位の熱意の賜と深く感謝申し上げます。

さて、私は平成9年、54歳の誕生日をもって航空自衛隊を定年退官致しました。

その後、某、生保に再就職をし、運動不足解消のために富山合気会で合気道の稽古をしておりました。  
全くラグビーとは、縁がないものと思っておりました。ところが翌年に、北三不惑交流大会を知らされて観戦  
した折であったと思いますが、小松「KRT」の米一会長が当クラブの中山会長に私を紹介して下さい、結果  
快諾いただいて魚津不惑の一員とさせて頂きました。

顧みますと、菅平での第1回全国不惑交流大会・熊谷不惑定期交流会、銘酒「魚津不惑」企画、誕生も  
私が所属当初の頃であったと思います。また、当時の遠征では総勢17～18名と大変不安な時もありまし  
た。現在は、幸いに若い会員の方のお陰で、より盛んになった交流会等への参加の不安も大分解消され  
たのではと思います。

この10数年間は、私にとって実に短く感じられましたが、パンツの色は、紺から赤、そして黄色になんなん  
とする年齢になってしまいました。これからは、健康保持のため少し摂生をし、早くリハビリ組をぬけ出して、  
もう少しの間、プレーを続けたいと思っております。

最後に、20年の歴史と、伝統を重んじ、これからも不惑ラグビーを楽しむため、会員各位の御健勝と、魚  
津不惑RFCのさらなる発展を祈念申し上げる次第でございます。



## 魚津不惑RFCと共に

魚津不惑RFC初代監督

森竹正人



20年前、私は、不惑正式メンバーの年齢には、わずかに若かった。

東日本不惑秋田大会で、秋田不惑より招待を受けた魚津不惑に、助っ人?参加しました。足には少々自信がりましたが、岩手不惑の紺パンツに素晴らしい選手がおられて、本当に50代か、自分自身50代であれだけ走れば、と、うらやましく思った。

菅平不惑交流大会には、毎年欠かさず参加し、本家、不惑クラブに100点近く得点されたりしましたが、数年後にはリベンジを果たし意気揚々と帰路に着いたのが懐かしく思います。

しかし、紺パンツが見えてきた時期に、右手人差指に瘦れを感じ受診したところ、頸椎症性脊椎症と診断され、ラグビーをプレーすることを、固く禁じられました。妻には、ラグビーで身体障害者になっても面倒は看ない、とお灸を据えられプレーする事を断念しました。その後、チーム役員会で監督をする様、強制され、観るだけのラグビー選手に変身しました。

魚津不惑には、30代後半から60代までの選手が在籍しており、足の速い人、遅い人、体重の重い人、軽い人、身長の高い人、低い人、ロの回る人、寡黙な人、様々な者がいました。どうチームをまとめれば良いかは、迷いませんでしたが、選手として参加している以上は、試合途中での交代は、怪我以外は認めず、「せめて前半だけでもプレーして下さい。」と、お願いしました。

また、事前に相手チームの監督に「魚津は前半赤紺パンツ主体で、後半は白パンツ主体でメンバーを組みますから合せて頂戴」と、頭を下げたりし、なるべく mismatch が起こらない様、同年代同士で楽しくそして激しくラグビーをプレーする事が不惑ラグビーであり、その事で選手個々の長所を引出し、短所を隠す。と、思い実践してきました。

昨今のラグビーは、50代後半を過ぎた選手には戦術が高度すぎて、理解するのが大変で、コーチ陣からの叱咤激励にも、頭では理解しても体が付いて行かず、現監督は反復練習する事により体で覚える様、苦慮されていますが早く成果が出る様、期待しています。

今後、魚津不惑RFCも、30年40年と歴史を積み重ねていくと思いますが、微力ではありますが、何かのお手伝いをさせていただけたら幸いです。

## 監督になって思うこと！

魚津不惑R F C監督

先名義隆



魚津不惑RFCの20周年にあたり、創設から御尽力頂きました諸先輩方や協会関係者、対戦させて頂いた各不惑チームの皆様へ御礼申し上げます。平成23年度から監督を引き受け、この記念すべき時期に務めさせて頂くことに感謝致します。

私達、魚津不惑チームは高校時代に経験して30年以上のブランクが有る人、50歳を越えて子供がラグビーを始めたからやってみたくて参加した人、メタボや持病の高血圧・痛風対策として参加する人等、多士済々でゲーム後の酒宴を楽しみに集まる魚津市周辺に住む面々です。毎年、3月末の総会に始まり、毎週日曜日の朝9:30～12:00 魚津工業高校グラウンドや桃山グラウンドをホームグラウンドに11月23日の納会までのシーズンと冬季オフのトレーニングを行い、一年を通して活動しています。

年間の活動内容は、チームのホームページに記載していますが、すこし紹介しておきます。

- ・県内外の不惑チームとの交流や7月の菅平不惑交流大会、北陸三県不惑大会、富山県ラグビー祭等、に参加
- ・桜の花見、りんごの花見、夏のバーベキュー、魚津まつり町流し見学、冬季スキー温泉合宿等のレクリエーション(一部には諸先輩やサポーターの皆様からは飲み会の写真ばかりでは・・・との声も?)
- ・ゲームを楽しむ為、白紺赤黄パン、全員一緒にキャプテンとコーチ陣の指導の下、各自の目標を掲げ、個人スキルやチームレベルを向上させるべく取り組んでいる厳しく苦しい練習。今では、不惑メンバー予備軍とも言うべき魚津サーティーからも参加し常時30人以上で練習しています。

さて、世代別の体力差は言うに及びませんが、攻撃・防御に於けるチームとしての一貫した方針が無く各世代が習って来た戦法や判断でやっていますが、若いメンバーの加入などで気持ちだけは最近のラグビーに近づくように意識しています。(体は思い通りに動きませんが!)メンバー全員で、少しずつでは有りますが前進して行けたら良いと思います。

一方、各世代別に抱えている問題も多く、白パン組は、家族との生活の占めるウエイトが高く、練習や県外遠征への参加率が低いので参加し易い環境を整える。紺パン組は、家族から開放され参加率は最も高いが、私のようなリハビリ人員が多く再生メニューが必須。赤、黄パン組は、元気ハツラツで宴会参加率とトークは最高ですが、練習でもその元気とコミュニケーションを発揮出来るよう修正して行けば、更なる魚津不惑RFCの向上に成るのでほっとしています。

最後にクラブのモットーとして、「勝ちにこだわらず楽しいラグビーをする!」「各自がゲームを楽しむ為の練習参加!」「黄赤パン組が楽しく参加出来る環境作り!」を実践し、「笑い声を絶やさず気持ち良い汗を流すチーム」として伝統を継続して行きたいものです。

今後も魚津不惑RFCの発展のため、各不惑チームの皆様、協会関係者の皆様、魚津不惑の先輩・メンバーの皆様、宜しく御願い致します。

# 楽しいラグビーと和

魚津不惑R F C 主将

有磯明



私が魚津不惑に入部し早くも16年。私がラグビーを始める事になったのは高校3年生の時です。中学、高校とサッカーをし、引退後、友達の間「森竹正人」先輩に声をかけて頂き、魚津工業高校ラグビー部OBクラブで練習をやる事になりました。

多くの先輩の中でカワイガッテ頂きラグビーの楽しさを教わりながら練習に励んでいました。

やがてクラブの部員数も増えチームが活性化する中で県大会8連覇をし、毎回の祝勝会では酒を酌み交わし、肩を組んで大声で校歌を唄った事を今でも思い出します。

並行して県社会人選抜に参加し貴重な経験をさせてもらうなど、魚津工業高校の出身でない私を同じように接して頂いた先輩や仲間感謝の思いです。

30代になり、先輩達が作った魚津サーティに加入、県大会や大阪遠征などに参加。

この頃から勝ちに、こだわらない全員参加のラグビーを楽しみ、38才で魚津不惑に入部。

今までの仲間がそのまま、違和感なく練習に取り組んできました。

当時は、グランド探しや、練習参加者を集めるのに苦しい時期もありましたが、近年になりヘッドコーチを置き、基礎練習を取り入れ厳しい中にも笑いもあり、飽きのこない楽しい練習を行っています。

そうした中、活動を休部していた魚津サーティが復活し、不惑と共に練習を行うようになり、毎回20~30人と一段と充実した練習をやっています。

不惑クラブ員として、魚津サーティの復活は、誠に良かったと安心しております。

他では、マラソンや自転車チームを結成し、ユニフォームも作り、ツーリングなどしながら、老いも若きも共に楽しくでいます。

魚津不惑の新たなスローガン「楽、苦、美」を元に諸先輩方が築いてこられた魚津のラグビーを継承して行きたいと思えます。

この20周年に主将を務めさせて頂く事に身の引き締まる思いと、先輩や多くの仲間、対戦不惑の皆様感謝し、魚津不惑が更に発展しますよう頑張っています。宜しくお願い致します。

## 焼酎『魚津不惑』の思い出



魚津不惑 R F C

二塚一郎

### 「プロローブ」

ラグビーは、歴史のある伝統的なスポーツであるけれどややこしい。見ている人は、もちろんのことやっている人もルールをきちんと理解しているとは、疑わしい。しかもユニフォームつまりジャージには、こだわりがあってそのクラブの歴史、伝統、精神などクラブのオリジナリティを表現して作られているとは、ラグビーを経験した人でないとわからない。

そしてラグビー独自の文化である「ノースサイドの精神」。試合後は、敵も味方もないというラグビーから生まれたこの言葉は、アフター・マッチ・ファンクション、わかりやすく言うと試合後の懇親会に引き継がれる。敵見方入り乱れて酒を酌み交わす。直前に戦った相手と敬意を交わし交流を深める。つまりラグビー独自の文化は、酒がないと成り立たない。ラグビー=酒と言っても過言ではない。逆説的ではあるが、酒がなくては、ラグビーではないのである。酒を愛するラグーマンがクラブのオリジナリティを酒にまで求めようとしたのは、自然の成り行きかも知れない。

平成14年7月6日 菅平の不惑クラブ交流会の夜、それは決まった。「クラブのオリジナル焼酎をつくろう。」前置きが長くなってしまった。

### 「心酔 魚津不惑」

かくして製造を一任された私。基本的な味は、樽熟成した麦の焼酎。樽はシェリー樽(シェリー酒\*を貯蔵した後の空き樽)を使用した。  
\*シェリー酒とは、簡単に説明するとスペイン南部の認定地域だけで作られるワインの一種。シェリー酒の熟成のため使用された空き樽に焼酎を貯蔵すると樽からしみ出るシェリー酒と焼酎が複雑に絡み合い独特な風味豊かな焼酎になる。

3ヶ月程度シェリー樽に貯蔵された焼酎は、ウイスキーやブランデーのような褐色になる。色の規制がある焼酎は、色が濃いままでは使用できない。貯蔵前の無色の焼酎をブレンドすることにより規格化した。

現在は、光学機器により測定して品質を安定化しているが、初期は、目視でブレンドしていたため品質に多少のばらつきがあったように思えた。ご容赦していただきたい。

そしてその年の12月初旬。オリジナル焼酎「心酔 魚津不惑」が完成した。その芳醇な味わいは、飲んだ人を魅了したと自画自賛。ラグビークラブが自分たちの焼酎を作ったという話題でラジオ番組にも取り上げられた。クラブのメンバーに支えられ続け今年で10年目を迎える。

### 「エピローグ」

40代になってからの母校の創立50周年記念試合の出場依頼があった。もうラグビーなどやることはないだろうと思っていたのだが言葉巧みにだまされた。愚かにもその試合のためだけにスパイタを購入した。試合後大変後悔したことは言うまでもない。

このスパイクをどうするか?それが、またラグビーを始めるきっかけとなった。平成13年春のシーズンであった。ラグビーは、相手とぶつかり合い身体に受ける衝撃も大きい。気がつかないうちにダメージが蓄積されているのではなかろうか。最初に手がけた焼酎ラベルのクラブ名をUOZU FUWAKU RUGBY FOOTBOOL (正しくはFOOTBALL) CLU Bと表示してしまったのは、蓄積されたダメージによる記憶障害に間違いない。

現在、身体中痛い所だらけ。タックルなんてとんでもない。いい試合は、質の高い練習から。それは、人数が集まらなないと機能しない。なるべく練習に参加してクラブをバックアップしていきたい。しかし試合は、もう御容赦願いたい。しかも紺パンツになるにつれますます疲労回復が遅くなってしまった。

とにかくへこたれず元気で頑張りたい。「元気ですかーっ! 元気が一番、元気があればなんでもできる。」ご存知、A・猪木の発した有名な言葉だが、猪木イズムの信者である私も腹の底から大声で一叫び!「元気ですかああ! !!」「元気があればラグビーができる。元気があれば焼酎も飲める。」「みなさん、どうしてそんなに酒に強いのですか?わたしは、ジリ貧です。」

「馬鹿やロー!!!」

魚津不惑焼酎が、今日の活力になれば本望です。メンバーのみなさんには、焼酎製造という仕事をいただき大変感謝しております。ありがとうございました。酒は、百薬の長とも言われますが、「健康のため飲み過ぎに注意しましょう。」とは、言いません。みなさん、魚津不惑焼酎をたくさん飲んで元気で長生きしましょう。

# 思い出のDVD

魚津不惑RFC

竹 芳男



入部して12年目と若輩者の私ではありますが、DVD作成について執筆依頼が有りましたので思いを述べさせていただきます。

DVDを作成する事になったきっかけは、私が子供の成長の記録を編集したDVDを作成している事を知られてしまい、“じゃあ、不惑のDVDも頼む!”と一言で決まってしまうました。

最初のDVDが2005年度なので今年で8 シーズン目となります。

DVDを作成するに当たり一番の苦労は録画されたビデオから好プレー・珍プレーを探す事です。不惑RFCは交流試合なども含め年間の試合数が非常に多いので試合のビデオを見るだけでも大変です。ビデオを見ていると、せっかくのトライシーンでも画面が小さくてわからなかったり、人やフラッグが邪魔する事など、良いシーンが撮れず、2台のカメラで撮影していた時期も有り、その時はビデオの確認が本当に大変でした。

一応、ビデオは一通り見ているのですが見逃しているプレーも多々有ると思われまして、参加された方全員が入るようにしたいと思ってますので、DVDに残して欲しいプレーが有りましたら自己申告して頂ければ助かれます。

今後はさらに撮影や編集技術の向上を図りながら、より楽しいDVD作成を目指したいと思いますので皆さんもDVDを意識して好プレー・珍プレーの量産を宜しくお願いします。

# 主務業とは

魚津不惑R F C主務

森竹清人



魚津不惑R F C創立20周年おめでとうございます。

入部した年に第一回菅平不惑交流会がありましたから、もう13年が経ちました。

2004年に頸椎ヘルニアにより戦線を離脱、実動は短くみんなの練習、試合を観ていました。

2005年3月某日、ある方から「お前、今年から副主務をやれ。」特に断る理由もなく「はい。」

同年8月に主務の方が、急に退部され9月某日、またある方から「お前主務。」副主務をやっていたのでしかたなく「はい。」・・・以来7年に渡り主務担当を任されました。不惑行事全般、諸連絡等、さまざまなことをやってきましたが「何でこんなことまで。」・・・と、思うことまで任されてきました。

しかし、何といっても試合の参加確認。これは大変。不惑とは、40歳以上で構成されるチーム。40歳といえば、世間一般からは、いい大人として見られているわけですが、この大人達のたちが悪い。案内メールを送っても期日までに返事が来るのが、良くて30%。再送をしても、大して変わらず、「いつも遅くなり申し訳ございません。」と書かれているが、いつも遅くなる場所をみると大して悪いと思っっているようにも思えず、また、これまで試合の案内では一回も返事が来ていない方もいて、まさに“強者たちの集まり”で疲れます。

私より以前の主務の方は、ハガキ、電話で連絡を取っていたことを考えると、今はメールがあり「まだまし」と、自分に言い聞かせながらやってきました。

今年から主務が変わりましたが、返事は早く出して心身的負担を軽くしてあげるようお願いいたします。

ラグビーをプレーできることに感謝され、身体をいたわり、ちょっと無理をして、末永くラグビーを楽しんでもらえれば幸いです。



# 楯円球の“魅力”と仲間達に感謝！

魚津不惑R F C初代コーチ

寺崎 聡



この度、20周年の節目を迎えるにあたり、初代コーチ(まだ52歳)?としての執筆依頼を受ける事となりました。

まず初めに、長き歴史のある魚津不惑のコーチ制導入に至った経緯を述べさせていただきます。

私が指導を担うことになったきっかけは、7年前のシーズンオフにチームの有志と「ありそドーム」でのウェイトトレーニングやエアロビックスのレッスンを受けたことが始まりです。

当然、努力してウェイトトレーニングをやってみたが全く体は絞れません？

また、エアロビックスもやってみたが、周囲の空気を悪くするばかりで、速いテンポについていけません？  
そして2年で断念！

翌年の2007年に、本格的に魚津総合体育館を会場としてラグビーの練習を始めることとなり、その際に自身が県中学生選抜の監督を務めている事でコーチとして“白羽の矢が立ち”就任したのがスタートです。

私としても、年齢が下は30歳半ばから上は70歳前半に至るまで年齢幅40歳！驚きの体験です。

やはり、当初は中学生を指導するかのよう、次々とメニューを進めるが、メンバーは仲間との会話に夢中で練習の説明を聞いているのかどうか分かりません。

まさに「笛吹けども、踊らず」状態とはこの事か？

しかし、皆さんの理解と協力により状況は変化し、後にラグビーと真剣に向い合い悲鳴を上げながらも走る姿を見ると、これが真び“ラグビー愛好家”であることを確信しました。

最後になりますが、この20周年とは人生にたとえると「新成人」となり、喜びと責任の重さを実感する時でもあります。

私が、チームの一時をコーチとしての指揮官を担い、自身の大きな成長に結びつけて頂いた事に深く感謝をして、今後もチームとしての新たな歴史を築く為に微力ながらお力添えできるよう努めたいと思います。

本当に楽しい時を過ごし、改めて楯円球の“魅力”に心を打たれました。

## ふるさととは遠きにありて

魚津不惑RFC

岡木 勝行



魚津不惑RFC創立20周年おめでとうございます。

中学校まではサッカー少年の私が、高校に入り先輩からの強い勧誘で始めたラグビーも現在34年目を迎えました。始めたころは、これ程長く続けられるスポーツとは思っていませんでしたが、「高校」、「社会人」、「不惑」と、それぞれの年代で、それなりにラグビーを楽しむことができました。

高校生からこれまで長きに渡り、ラグビーを続けてこられたのも諸先輩方やクラブの仲間の、おかげと感謝しています。若い時は勢いでプレーをして試合に勝つ事だけを目標としていたようでしたが、魚津不惑クラブでは練習や交流試合、その後の懇親会とクラブの仲間と楽しくプレーし、楽しく懇談しラグビーを通じて充実した時を過ごせていたように思います。

その充実した時も今は、仕事の関係で単身大阪での生活となり、週1回の練習や懇親会に参加する事ができず残念です。

勢いでプレーしていたラグビーも今は、ラグビーのプレーは勿論のこと仲間と過ごす中で色々な楽しみを得て、今のライフサイクルには欠かせないものになっていたのだなど、大阪に来て痛感しています。

地元で生活していた時は、「ふるさと」と思う事はありませんでしたが、今まであたり前に出来ていた事があたり前に出来なくなつて強く「ふるさと」を感じています。

大阪にも不惑のチームは沢山あり、大阪でラグビーをする事はできますが、これまで続けてきた仲間以外のチームで活動するのはあまり気が進みません。

魚津から大阪と地域的な距離は遠くなりましたが、チームの一員としての距離は変わっていないと思います。

練習や試合には毎回参加する事はできませんが、今後も魚津不惑クラブの一員として仲間とワイワイガヤガヤと楽しませて頂きたいと思います。

のびのびとするこのチームが、今後もいろんな仲間を受け入れ、大きくとか、強いつかだけでなく、あつてよかったというラグビーチームで存在し続けて欲しいと大阪単身赴任で心のそこから願い、この20周年記念に心からお喜びを述べさせていただきます。

魚津に戻ったら、またお願いします。

## 50歳からはじめたラグビー

魚津不惑R F C

馬場 健 宏



まず、50歳のガタのきたオっさんに、ラグビーをする機会を与えてくださった、魚津不惑のメンバーの方々に感謝します。

私がラグビーを知ったのは、今から40年前にテレビで見た早明戦でした。その時は高校に進学したらラグビーをやろうと考えていました。

しかし、高校では、ほんの一瞬と言っていい位の期間ラグビー部に所属しましたが、他の部に移ったため体育の授業でラグビーをただけでした。

その後、三男が中学校でラグビー部に入るまでは、正月に大学ラグビーをテレビ観戦するくらいでした。

三男が中学校のラグビー部に入り、土日のオール富山の練習の送迎をする中で、素敵なオジ様達がラグビーをしている姿を見掛ける機会があり、その中に高校時代の友人や知合いの顔を見掛け、驚いたものです。たびたびその姿を見ることで、無謀にも「自分もラグビーをやりたいな。ラグビーやれるかな。」との考えが湧いてきました。

たまたま魚津不惑のメンバーに私の家内の知合いの方がいらっしゃって、その方の紹介で練習に参加することにしました。しかし、今までジョギングや水泳ぐらいしかやったことのない私にとっては、大変なことでした。

練習初日は途中リタイヤ、第2回目は、途中休憩を入れて何とか終了まで。こんな状態なので、平日は練習の為にトレーニングをする生活に変わりました。今年で4年目ですが、まだまだ練習でメンバーの方々の足を引っばっております。

私がラグビーを始めたことにより、もう一つ変わったことがあります。それは、次男が高校に入ってラグビーを始め、私が高校のPTA活動に参加したことです。今までは息子達の学校に行ったことのない私が、PTA会長を務めたりし、仕事・家庭・不惑と三つの世界と係わって日々がんばっていることです。

新しい可能性を与えてくれたラグビー及び魚津不惑に感謝です。

魚津不惑のメンバーの皆さん、これからもご指導をよろしくお願いします。

## 20年のあゆみ

### ■平成4年度

※初代会長 中山良雄

- 3・28 魚津オールドラガー（仮称）  
協会 「千草」
- 6・28 第45回県民体育大会  
常願寺G 以降毎年参加
- 8・15 第44回魚津市ラグビー際  
魚高G 以降毎年参加
- 10・18 交流試合 対金惑クラブ  
魚津0-15金惑 桃山G
- 11・23 富山県ラグビー際  
魚惑10-17富惑

### ■平成5年度

- 4・18 交流試合 対城北クラブ  
富山市多目的運動広場

### ■平成6年度

- 5・3~4 全国不惑ラグビー  
交流大会 秋田県  
魚惑 14-24 天理オールドベア  
魚惑 5-38 岩手不惑
- 10・30 北陸三県不惑交流大会  
福井県

### ■平成7年度

- 5・28 高岡万葉カップ杯  
魚惑 12-0 富惑  
魚惑 5-10 DIVE II
- 10・10 富山市ラグビー際 西高G  
魚惑 0-22 富惑
- 10・28~29 北陸三県不惑  
交流大会 桃山G

### ■平成8年度

- 5・25~26 岡山遠征
- 6・2 高岡万葉カップ杯
- 9・21~22 北陸三県不惑  
交流大会 根上G
- 10月上旬 富山市ラグビー際  
西高G



## 20年のあゆみ

### ■平成9年度

- 5・15 高岡ラグビー隊  
高岡G  
東京エリスと対戦 ベナント交換  
10・5 交流試合 対金感クラブ  
根上G

### ■平成10年度

- 5・31 富山県ラグビー  
フェスティバル 桃山G  
市協会創設50周年の一環事業  
招待試合 トヨタVS東芝府中  
11・7～8 北陸三県不惑  
交流大会 常願寺G

### ■平成11年度

- 5・22～23 第1回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平  
6・6 富山県ラグビーフェスティバル  
招待試合 明治大VS早稲田大  
9・5 交流試合 対熊谷不惑  
熊谷ラグビーG (第1回)  
10・2～3 北陸三県不惑  
交流大会  
(地区運動会の為、不参加)

### ■平成12年度

- 5・3 交流試合 対熊谷不惑  
桃山G  
7・1～2 第2回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平  
10・14～21  
第55回国民体育大会  
ラグビー会場運営協力  
桃山G  
11・4～5 北陸三県不惑  
交流大会 能登

### ■平成13年度

- ※4月花見会開催  
※1月スキー合宿(赤倉)  
5・3 交流試合 対熊谷不惑  
荒川G  
7・7～8 第3回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平  
11・3～4 北陸三県不惑  
交流大会 砺波G



石川県能都町へ

カとスポーツビッツア





## 20年のあゆみ

### ■平成14年度

※2代目ジャージ作成

- 5・5～6 交流試合 対熊谷不惑  
桃山G
- 7・6～7 第4回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 10・20 交流試合 対金感クラブ  
根上G
- 11・3～4 北陸三県不惑  
交流大会 福井G

### ■平成15年度

- 5・26 交流試合  
対どんぐりクラブ(大阪)桃山G
- 7・5～6 第5回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 9・12～13  
交流試合 対熊谷不惑  
熊谷ラグビー場
- 11・1～2 北陸三県不惑  
交流大会 根上G  
(兼)第2回不惑ラグビー  
日本海フェスタ
- 2・29 第1回タグラグビー大会  
市総合体育館

### ■平成16年度

- ※冬期練習開始(ありそドーム)
- ※10・23国体応援(熊谷ラグビー場)
- 5・1 交流試合 対熊谷不惑  
桃山G
- 5・22～23  
交流試合 対岡山桃惑  
水島三菱化学G
- 7・3～4 第6回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 11・7 北陸三県不惑  
交流大会 桃山G

### ■平成17年度

- ※ねんりんピック参加
- ※総集編DVD作成
- 5・1 交流試合 対熊谷不惑  
荒川IG
- 7・3～4 第7回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 11・6 北陸三県不惑  
交流大会 桃山G

### ■平成18年度

- ※魚津不惑HP開設
- 5・7 交流試合 対熊谷不惑  
荒川IG
- 7・1～2 第8回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 10・8 金大医学部ラグビー部  
30周年記念試合参加
- 11・11～12 北陸三県不惑  
交流大会 根上G



## 20年のあゆみ

### ■平成19年度

- 4・29 交流試合 対熊谷不惑  
桃山G
- 6・30～7・1 第9回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 11・3～4 北陸三県不惑  
交流大会 福井G

### ■平成20年度

- 5・10～11 魚津市ラグビー協会  
60周年事業協力
- 7・5～6 第10回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 9・21 交流試合 対郡山不惑  
磐梯熱海スポーツパークG
- 10・25～28 ねんりんピック  
鹿兒島大会
- 11・1～2 北陸三県不惑  
交流大会 高岡G

### ■平成21年度

- ※2代目会長 米田 辰雄
- 5・17 交流試合 対関不惑  
桃山G
- 7・4～5 第11回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 9・21 交流試合 対郡山不惑  
桃山G
- 11・7～8 北陸三県不惑  
交流大会 石川G

### ■平成22年度

- ※3代目ジャージ作成
- 5・9 交流試合 対熊谷不惑  
桃山G
- 7・3～4 第12回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 7・18 富山県ラグビーフェスタ  
常願寺G
- 10・9～12 ねんりんピック  
石川大会
- 11・6～7 北陸三県不惑  
交流大会 福井G

### ■平成23年度

- 5・29 交流試合 対熊谷不惑  
台風の為、中止
- 7・2～3 第12回全国不惑  
クラブ交流大会 菅平
- 9・18 交流試合 対郡山不惑  
桃山G
- 10・9 交流試合 対関不惑  
桃山G
- 10・29～30 北陸三県不惑  
交流大会 桃山G  
over60の部初開催





## ●メンバー紹介 黄パン●



**清河 貢：FW**  
ラグビーと出会って60年  
これからもラグビー  
スピリットで



**中山 良雄：FW**  
仲間に感謝！



**松本 茂：FW**  
観て楽しんでいます。



**島崎 正行：BK**  
ラグビー、皆で  
力を合せ楽しく・・・



**大谷 喜一：BK**  
20年間、紺、赤、黄色のパンツを着  
継いでラグビーを楽しみ、数々の思  
い出が作れたのも、チームの皆さん  
のお陰です、これからもよろしく



**長崎 政晴：FW**  
20周年おめでとう！



**米田 辰雄：BK**  
紫まで走り続けたい



**野崎龍治郎：BK**  
ラグビーに感謝！



**廣澤 幸夫：FW**  
もう少し、みんなと楽しみたい！



**野畑 武好：FW**  
目標は紫・・・。



**室口 征雄：BK**  
楯内球と出会って50余年  
これからも夢を求めて



**中川 芳忠：FW**  
ラグビーをもっと楽しみたい

●メンバー紹介 赤パン●



原 謙司：BK  
ラグビーの仲間乾杯



久蔵 正明：FW  
イイ汗かいて健康だぜ！ヨシ!!



高野 俊春：BK



石崎 晴久：BK  
黄パンツまで・・・



大崎 秀一：BK  
ただ今、ラグビーに熱中



油本 康則：FW  
赤パン人生の始まり！  
走る赤パン・走れ？赤パン  
赤パンラグビー大いに  
楽しむぞ!!



黒田 譲：BK  
今の自分をほめてやりたい



石崎 勉：BK  
ラグビーは生涯スポーツ。  
赤パンをはいて楽しめます。



前田 健二：FW  
one for team

●メンバー紹介 紺パン●



森竹 正人：BK  
ラグビーは観るスポーツと  
この歳になってやっと  
解りました！



村上 洋：FW  
みなさんが有っての村上です。



屋木 修一：FW  
福井でガンバッテマス!



浜田 伸雄：FW

赤バン目指して、これからも頑張ります。  
皆さんよろしくお願いします



先名 義隆：FW

リハビリに励みます。



盛本 康之：FW

富山の仕事を受注して、また魚津不惑RFCのみんなと一緒に良い汗かいてグビグビ酒飲むぞーっ



高谷 元之：FW

膝痛の為、思うように練習出来ませんが頑張りたいと思います!!



成瀬 友明：BK

毎年総集編に好プレー1つ  
珍プレー1つ出演するぞ!



谷崎 雅彦：FW

ここ一番で走れる体力づくりに励みます。



有磯 明：BK

ラグビーに感謝!



清河 満広：FW

気がついたら早20年、まさかラグビーボールを追いかけ続けるとは



青山 庄：BK

交流戦、頑張ります。



馬場 健宏：BK

一生懸命楽しむぞ。



二塚 一郎：BK

故障続きですみません



盛本 達男：BK

ラグビーも人生も楽しくやります!



森竹 清人：FW  
気持ちはラグビー  
体は自転車



寺崎 聡：BK  
For All! For Enjoy!



能波 連蔵：BK  
紳士のスポーツ、それは  
ラグビー!



寺田 洋：FW  
飲み過ぎない! ケガを  
しないよう、がんばります。



浜岸 浩文：BK  
ラグビーを出来る  
喜びに感謝!



岡本 勝行：BK  
スクラムハーフー筋34年 性格は素  
直で真っ直ぐストレート! パスはミ  
ラクル変化球? 笑いを取らずにトラ  
イを取りに頑張ります!!



米山 隆：FW  
リープ仏主将の名言のとおり  
ラグビーは我々を瞬時に少年に  
戻してくれます。これからも楽  
しみたいと思います。



中林 憲昭：FW  
腰を治して、黄色パンツまで  
がんばるぞ!



狐田 雅幸：FW  
これからも、ラグビーを  
エンジョイします

## ●メンバー紹介 白パン●



浦島 弘光：FW  
PRとSHの二刀流で  
頑張りま〜す



田中 悟：BK  
レフリーばかりして  
試合に出れません



竹 芳男：BK  
なんとか赤パンまで  
頑張りたい!



**浜田 広志：FW**  
年に一回は顔を出します



**矢野 道宝：BK**  
不感になって怪我多し。  
もう無理はしません！



**山本 浩司：FW**  
今年の目標は、1回でも多く  
練習に参加することです！  
頑張ります！



**寺崎 徳夫：BK**  
一部員として…“無我夢中”不言実行で頑張りたいという所存です。おもいっきり楽しみましょう。



**浜浦 健一：FW**  
練習に精進し、怪我をしないで  
頑張ります！



**芦崎 和夫：FW**  
健康な体を作ります



**斎藤 浩勝：FW**  
怪我をしない、させない、した  
そぶりをしない！



**高慶 信治：FW**  
痛風、高血圧、腰痛からの脱却。



**浜岸 賢司：FW**  
FIGHT 1発！



**宮津 政勝：FW**  
昔の体型に戻りたい



**金森 昌泰：FW**  
昨年より試合に多く出るぞ！

# 北日本新聞

北日本新聞社  
 〒950-8501 新潟県新潟市東区  
 5月28日  
 月曜日  
 〒950-8501 新潟県新潟市東区

北日本新聞発行部  
 〒950-8501 新潟県新潟市東区  
 〒950-8501 新潟県新潟市東区  
 〒950-8501 新潟県新潟市東区

## 県外チームと交流戦

### 魚津不惑ラグビー20周年

魚津不惑ラグビーフットボールクラブ米田辰雄会長の創立20周年記念交流試合が27日、魚津市桃山運動公園陸上競技場で行われ、40、70代の選手が熱戦を繰り広げた。写真

ラグビーでは40歳以上の選手で構成するチームを「不惑チーム」と呼ぶ。この日は同クラブをはじめ、熊谷不惑俱樂部（埼玉）や関俱樂部（岐阜）から約100人が参加。55歳以上の部では魚津対熊谷の1試合、55歳未満の部では



魚津対熊谷、魚津対関の2試合を行った。選手たちは全力でボールを奪い合うなど追力のアレを繰り広げた。同クラブは1992年に発足。現在59人が所属し、県内外のチームと定期的に交流試合を行っている。

## <編集後記>

今回、多くの方々のおかげで発刊までこぎ着けましたことを感謝致します。

20年のあゆみの中で、発足間もない頃の方々や試合の様子を多く掲載したかったのですが、写真が少なくようやく何枚か集めることが出来ました。

また、試合の写真となると、カメラマンは選手ど兼ねることが多いため、なかなか撮ることが出来ず、飲み会の写真ばかりで選定に苦労しました。

次回、30周年、40周年の記念誌を作成するときは、あらかじめ準備されることをお勧めします。

最後に、編集に協力してくださった委員の方には毎月忙しい中、私の勤務予定に時間を合わせていただきありがとうございました。

これで安心しておいしいお酒が飲めます。(編集委員長N)

魚津不惑RFC創立20周年記念誌  
 発行  
 魚津不惑RFC  
 会長 米田辰雄  
 2012年6月吉日

